

## 祝 念願の扇橋が開通!

昭和9年2月の開通以来、90年以上にわたり地域交通を支えてきた「扇橋」の架けかえ完了に伴い、令和8年3月29日（日）に開通式および記念イベントが開催されました。

当日は、地元伝統芸能によるアトラクションや中学生の吹奏楽演奏によるテープカットに加え、地元の四世代、三世代のご家族が先導する「渡り初め」や、橋の上を自由に楽しめる「歩行者天国イベント」が開催され、キッチンカーやスタンプラリーなど、市民参加型の多彩な催しがありました。







### 3月議会

## 令和8年度府中市一般会計予算を原案のとおり可決!

3月定例会において提出された議案34件、報告2件、意見書1件を会期中（2月26日～3月24日 27日間）に審議し、議決しました。

### 主 な 審 議


- 令和8年度府中市一般会計予算**  
 若者に選ばれるまちづくりプロジェクトなどの新規事業を含めた、歳入歳出総額219億3千万円の一般会計予算を原案のとおり可決。 
- 府中市住宅団地汚水処理施設設置及び管理条例の廃止**  
 広谷団地汚水処理施設で汚水処理している区域が令和8年4月1日から公共下水道に接続されることに伴い、広谷団地汚水処理場を廃止。 
- 府中市特定乳幼児等通園支援事業の運営に関する基準を定める条例の制定**  
 子ども・子育て支援法の改正に伴い、令和8年度から府中市乳児等通園支援を行う事業者（広谷保育所及び上下保育所）が、乳児等支援給付費の支給に係る事業を行う者であることの確認を行う。 
- 府中市特別職の職員の給与に関する条例の一部改正**  
 不適切な事務処理等の事案に係り、令和6年度府中市一般会計決算について不認定となるなど、市長としての管理監督責任を十分に果たせていないことから、令和8年3月から5月の給料を50%減額。（令和7年4月以降、市長の給料を10%減額しており、合わせて50%。） 

### 議員提出意見書案

- 非核三原則の堅持を求める意見書**  
 国に対して、核兵器のない平和な世界の実現を願う被爆地の思いをしっかりと受けとめ、非核三原則を堅持されるよう要望。 

### 1月臨時会

### 主 な 審 議

- 令和7年度府中市一般会計補正予算（第5号）**  
 物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金を活用した、「市民生活応援商品券配布事業」等、総額4億7,929万4千円を可決。 

# 一般質問

## Q & A

### 3月4日、5日 14人の議員が 市政を問う！



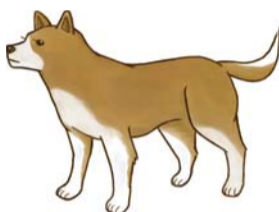
公明党  
おおもと ちか子  
大本千香子

#### 野犬対策



**Q** 市内各地で野犬対策を進めて欲しいとお声をいただく。現状と今後の対策について伺う。

**A** 野犬に関する苦情は、令和5年度63件、令和6年度83件、令和7年度2月末時点で106件いただいております。内容は鳴き声、ふん尿、通学路での遭遇等、威嚇行為への恐怖等が多い。令和7年度は、広島県動物愛護センターとの連携した保護活動により、2月末時点で80匹の保護実績があった。今後も県と連携して、野良犬に対する注意喚起や安易な餌やりを行わないなどの市民周知も図ってまいりたい。



経政会  
もり みつあき  
森川 三孝

#### 公民館の地域協働拠点としての機能強化



**Q** 公民館が生涯学習の場にとどまらず、地域コミュニティ、健康福祉、防災拠点など多様な役割を担っている現状を踏まえ、機能強化や役割の明文化、館長への権限付与により、地域協働の拠点として位置づけ、既存施設を活用し地域活力の回復につなげられないか。

**A** 公共施設は地域課題解決のため有効活用されるべきであり、固定観念にとらわれず、時代の要請に応じて市長部局とも連携し活用方法を検討していく。



経政会  
たなべ mitsuaki  
田辺 三孝

#### 中山間地の農業存続



**Q** 中山間地で意欲ある担い手が、農業をやめられた農地を集積して農業を守ってきたが、高齢化で継続が困難となっている。自治体が農業公社をつくってでも農業を復活させるべきと考えるがどうか。

**A** 自治体による新たな農業公社の設立は慎重な検討が必要だ。公社が経営主体となれば、経営リスクが市の財政負担となる。担い手不足の解決策として効果は期待されるが、地域農業の主体性を弱め、また民間参入意欲を阻害する可能性がある。



COMMONS未来  
やすとま まさひろ  
安友 正章

#### 太陽光パネル設置条例の制定に向けての取り組み



**Q** 上下地域の中心部における一部エリアの町並みは重伝建指定を目指している。上下町まちづくり景観条例に太陽光パネル設置規制を設けたらどうか。

**A** 太陽光パネル設置規制を条例化することは、市全域的な課題であるため、国の方針や他自治体の事例を参考に検討したい。また、重伝建指定を目指すエリアについては住民の意見を聴取したうえで適正な対応を図りたい。



COMMONS未来  
いわむら ゆうた  
岩室 雄大

#### 多文化共生



**Q** 多文化共生を推進するため、条例制定等、うまくいっている自治体を参考に、取り組むことが必要ではないか伺う。

**A** 多文化共生に関する条例の制定は、検討していない。いずれにしても、誰もが住みやすいまちを目指していくのは必要。困っている方々にしつかり寄り添っていくことが必要と思っている。



COMMONS未来  
かとう よしひで  
加藤 吉秀

#### 府中市都市計画



**Q** 府中市都市計画の進捗状況を伺う。

**A** 人口減少が進む中でも都市機能を維持し、市街地の魅力向上を図ったうえで、人口流出を抑制し、持続可能な都市づくりを目指すため、機能の集約化による拠点性の向上と、市域を道路網や公共交通で結び、市内のどこに住んでも必要な都市機能を受容できる「ネットワーク型コンパクトシティ」の実現に向けて取り組んでいる。



市民クラブ  
どい もとし  
土井 基司

#### 架空事業への支出



**Q** 「小中一貫教育全国サミットinびんご府中」レセプションの参加費と実費との差額50万円について、公金で支出する政策的判断を行ったのは誰か。また、食事を提供した業者、架空事業の契約相手方、ホテル協会各々の関係を伺う。

**A** 政策的判断の最終的責任は、市長に帰属する。レセプションは府中市内で行われたが、料理提供、契約相手、ホテル協会総会の実務担当は同一業者である。



市民クラブ  
みずた たか  
水田 豊

#### 上下高校の存続



**Q** 上下高校への志願者数が20名を切り、県の基準に達していないと募集停止もあり得る状況だ。今年の上下高校への地元からの入学志願者数と今後の上下高校支援方針を伺う。

**A** 上下高校への市内中学校からの志願者数は8名、うち上下中は3名。上下高校のさらなる魅力化を図り、継続的な生徒の確保につなげていく。通学支援等を来年度も継続して実施する。





市民クラブ  
芝内 則明

### 県費教職員の駐車料金



**Q** 本議案が可決後、対象になった方々に、どのような説明をされるのか伺う。

**A** 議案可決後に、校長研修会等で制度改正の趣旨及び内容を確認し、各学校において共通理解が図られるよう周知する。また、県費負担教職員に対しては、文書を作成して丁寧に説明をしたい。



創生会  
眞田 光夫

### 狭隘道路対策



**Q** 県道の道路改良について、市としてどのように課題を整理し、優先順位をつける、県へ要望しているか伺う。

**A** 優先順位のつけ方は、交通事故の危険性や災害リスクなどの安全性、道路の老朽化などの緊急性、通勤・通学などの交通の円滑性、さらに、中山間地域など地域の均衡発展の観点を総合的に判断し、優先順位を整理している。地域住民との意見交換、県との情報共有、現地確認を行ったうえで課題を把握し、必要性や効果を示しながら、継続的に要望している。



創生会  
和彦 弘瀬

### DX推進の成果と課題



**Q** これまでのDX推進により、市民生活・行政・産業の各分野でどのような成果、課題があったのか伺う。

**A** 総合計画等に基づきDXを推進し、産業ではIT導入補助で生産性向上、農業ではスマート技術で効率化と収益向上、教育はGIGA端末整備、福祉は介護認定や見守りにAI導入、観光は音声ガイドやオンライン化、行政は各種手続のデジタル化と業務効率化を実現。課題はコストや通信環境等制度拡充により対応を進めている。



創生会  
福田 勉

### 地域公共交通の現状



**Q** 本市における地域公共交通の現状認識と課題について伺う。

**A** 現在、鉄道や路線バス、高速バス、デマンド型乗合タクシー、地域運行の協和元気タクシーなど、多様な交通手段により市民の移動を支えている。持続可能な地域公共交通の実現に向けては、さらなる利用促進に取り組みたい。課題としては、JR福塩線や地域をまたいで運行している路線バスなどの広域交通の維持確保、交通事業者の収益拡大、担い手不足などがあると認識している。



創生会  
藤三 毅

### 認知症高齢者の命を守る「重層的な見守り体制」の構築



**Q** デジタル機器を活用した重層的な見守り体制を構築するとともに、多職種連携の搜索訓練を定期開催し、「地域を見守る文化」を育むべきではないか伺う。

**A** GPS端末の貸し出し等の対策に加え、住民の支え合いは不可欠である。訓練は体制強化に有効である。認知症を「自分事」と捉える啓発活動や先進事例の調査研究に努め、誰もが安心して自分らしく暮らせるまちづくりに全力で取り組む。



無所属  
岡田 隆行

### 国道432号の傷んだ歩道の改善急務



**Q** 上下交差点から上下中学校前までの国道432号の歩道は傷みが激しく、高齢者などが転倒する事故も起こっている。市はどのように現状を認識し、改善していこうとしているのか。

**A** 市としても現地確認を行い、破損状況を把握している。この区間は一部に段差があり、ひび割れ、経年劣化による不均等な路面などで、歩行者や自転車の利便性に支障を来している。引き続き、歩道の舗装改善を強く県に要望していきたい。

## 委員会での審査

### 総務文教常任委員会

● 過疎地域持続的発展計画の策定について（原案可決）

**Q** 過疎地域持続的発展計画の目的とスケジュール、財政運営との整合性について伺う。

**A** 本計画は人口減少を踏まえて、地域の持続的発展を図ることを目的としている。期間は令和8年度から令和12年度とし、必要に応じて予算化し実施していく。掲載事業は必ず実施するものではなく、過疎債活用を想定したものであり、財政運営プランの方針や進捗を踏まえ、優先度に応じて着手を検討していく。

### 建設産業常任委員会

● 備後府中まちづくり基金条例の制定について（原案可決）

**Q** 寄附者の意向と基金の活用方法についてどのように進めるのか伺う。

**A** 寄附は、子育てや教育環境、産業基盤の整備などを支援し、優秀なエンジニアや技術者が府中市を選んで住み、働き続ける地域としての競争力を高めるための戦略投資と位置づけている。今後は商工団体や大学等と連携し、委員会や協議会を設置して活用方法や事業内容を検討し、効果的な運用を図っていきたい。

### 厚生常任委員会

● 府中市特定乳児等通園支援事業の運営に関する基準を定める条例の制定について（原案可決）

**Q** 特定乳児等通園支援事業の実施体制、安全対策、周知方法について伺う。

**A** 令和8年度は上下・広谷の公立保育所2カ所を実施し、私立保育所にも説明済み。利用者数は、未入所児童の約半数を想定し、1日3人程度を受け入れる。安全対策は既存の計画やマニュアルを活用し、保険加入も進めている。



# 予算特別委員会での審査

## 総務文教分科会

●議案第3号 令和8年度府中市一般会計予算について  
**Q** 「ふちゅう生涯学習大学」における、府中らしさ」とはどのような内容か伺う。

**A** 本事業は、世代を超えて学び合い、その成果を地域に還元する新たな学びの拠点づくりを目的としている。府中らしさについては、ワーキンググループで検討を進めるが、市内起業家による実践講座や本市出身の大学教授による専門講座など、地域人材を生かした学びを想定している。さらに、受講者が運営にも関わる仕組みを整え、学びが地域活動へ広がる循環を目指していく。

## 厚生分科会

●議案第9号 令和8年度府中市病院事業会計予算について  
**Q** 湯が丘病院の長寿命化と大規模修繕の妥当性、今後の方向性について伺う。

**A** 建てかえは行わず、大規模改修による長寿命化で運営を継続する考えである。改修による収益減や財政負担については、現時点で延命年数や費用は未確定であり、今後の設計業務の中で施設内容や改修規模、期間、財政負担を整理し、医療機能の維持と運営への影響を踏まえ、総合的に検討していく。

## 建設産業分科会

●議案第3号 令和8年度府中市一般会計予算について  
**Q** 食の魅力発信事業業務委託料の減額理由を伺う。

**A** 令和8年度以降については、食文化に限らず、トータル的なシティープロモーションを中心とした取り組みを行う方針とした。これらによって、食文化へ特化した予算配分を縮小し、また、事業の見える化を図り、個別にやっていく事業については、個別で予算計上させていただくことにしたため、食の魅力発信業務委託料については予算計上を行っていない。



# 予算総括質疑

## Q&A

経政会 藤本 秀範

**Q** 令和8年度の施政運営の基本方針として、安心と挑戦、暮らしを守り、未来をつくるとあるが、具体的に市長は、市民の皆様は何をお伝えしたいのか。

**A** 将来を見据え、未来への挑戦として次世代を担う人材育成として新たな生涯学習大学を設立することや、次世代を育む環境整備、DXを活用した行政業務の効率化や若者を選ばれるまちづくりプロジェクトを推進することで、人口減少や地域課題の解決にも、積極的に取り組むことを伝えたい。

COMMONS未来 加藤 吉秀

**Q** 令和8年度予算、主要事業が10ある、方針と費用対効果、KPIを示していたきたい。また、湯が丘病院についての今後を伺う。

**A** 各事業に効果検証を行い、KPIもできれば設定する。例として利用者数・満足度・業務時間削減等を指標とし、PDCAで改善していく。成果が不十分な事業は、見直し・統廃合を行い、限られた財源の中で効果的な施策へ重点配分していく。湯が丘病院については、地域医療を守るといふ方針のもと、検討していく。

市民クラブ 水田 豊

**Q** 「恋しき」に係る事業は景観の保存と観光の活用のみとし、活用事業は休止すべきではないか。

**A** 「恋しき」は、令和8年度、業務委託により運営、令和9年度以降は、指定管理への移行を検討する。「恋しき」を核とする食の魅力発信事業は廃止し、令和8年度以降は、食文化に限らず、シティープロモーションを中心とした取り組みを行う方針へと変更する。これにより、令和8年度の「恋しき」に特化した予算配分は、管理運営に係る業務委託料のみとなる。

創生会 広瀬 和彦

**Q** 今回の予算編成について、暫定予算とし最小限に抑えたうえで、新市長の方針を反映した本予算を改めて編成し、補正予算での対応は検討できなかったのか。

**A** 暫定予算も選択肢ではあったが、年度当初から必要な施策が多く、遅延は市民生活に影響するため通常予算を編成した。補正は6月以降となり時期的な遅れも考慮した。なお大型新規事業は抑制しており、今後は新市長の判断で補正対応も可能と考える。

創生会 真田 光夫

**Q** ふるさと納税は、貴重な自主財源であり、地域産業のPRにもつながる重要な制度。事業者への支援状況や参加割合、寄附増加時の財政効果、返礼品開発の考え方について伺う。

**A** 事業者支援は、中間事業伴走型支援は今後検討している。登録は86社で市内事業者の約4%である。寄附増加分は財政調整基金の回復に寄与することから、地域資源の掛け合わせなどにより、新たな返礼品開発を進め、自主財源確保に向けて努力していく。

市民クラブ 土井 基司

**Q** 予算資料に成果指標を明示しないのか。また、今後の大型事業の見込みと予算規模を伺う。

**A** 2027年度予算案から指標を提示するよう検討したい。投資的経費は一段落して横ばいとなる見込みで、予算規模は、おおむね220億円台で推移する。今後5年程度で想定される主要事業として、TTCアーリーナの長寿命化、ため池総合対策、給食センターの大型厨房機器更新、学校端末更新、小・中学校の外壁改修などが挙げられる。

公明党 加島 広宣

**Q** 令和8年度予算は誰が中心となり、どのような基準で編成されたのか伺う。

**A** 市長を中心に、事業見直し方針や予算編成方針に基づき、限られた財源を有効活用する観点で取りまとめられた。市民生活に直結する事業を優先し、子育て・教育・人材確保・地域の魅力向上の4分野を重視した。スクラップ・アンド・ビルドや歳入確保を徹底し、全庁でコスト意識を共有して編成した。

議案第28号

府中市国民健康保険税条例の一部改正について

反対討論

無所属 岡田 隆行

昨今の世界情勢から、今後さらにもさらに物価高騰による生活悪化が懸念される。こうした中、昨年の1人当たりの平均年税額14万8,918円から5,799円上がる。税負担を増やすことは避けなくてはならない。府中市の国保基金はまだ4億円余りあり、県統一化までを見通しても税額の据え置きは可能と考え、値上げに反対する。

賛成討論

創生会 真田 光夫

将来にわたる制度の持続性と市民負担のバランスをどう図るかが重要と考えている。物価高騰の中で負担感は大いだが、段階的に基金を活用し、急激な保険税上昇を抑制する現実的な対応であると判断し賛成する。

議案第9号

令和8年度府中市病院事業会計予算について

原案賛成討論

公明党 大本 千香子

湯が丘病院建てかえを断念した今、今後の病院の方向性を見定めるために、現在の病院施設の詳細を正確に把握する必要があり、そのための設

原案賛成討論

無所属 岡田 隆行

現在の小野市政は、湯が丘病院の建てかえは見送る方向にある。しかし、限りある予算をどのよう

原案賛成討論

市民クラブ 水田 豊

湯が丘病院の将来像を示さない予算は認めないと修正案がでた。将来像とは何かと聞いてもはっきりしなかった。湯が丘病院の将来像の議論を否定するものではないが、議論している間にも湯が丘病院の老朽化は進み、病院の存続そのものが危うくなる。したがって、どのように存続するかを調査する湯が丘病院長寿命化予算に賛成する。

修正案賛成討論

経政会 森川 稔

人口減少や医療需要の変化により、湯が丘病院は入院中心の経営は今後厳しく、立地面でも利用増は見込みにくい。加えて公的病院への財政負担も大きく、現施設の延命は将来の選択肢を狭める恐れがある。まずは将来を見据えた府中市の医療体制の全体像を描き、適正な規模や配置を検討したうえで投資判断を行うべきであり賛成する。

修正案賛成討論

創政会 三藤 毅

財政改革対策特別委員会は府中市財政健全化に向けた提言で、人口減少下の3病院維持の困難さを指摘している。特に湯が丘病院は経営形態変更を含む再編計画の早期策定を求めている。この提言を重視し、実効性のある再編計画が示されるまでは、予算措置を認めないとする修正案に、委員会の立場から賛成する。



原案賛成討論

創生会 福田 勉

本議案は、市長がみずからの責任を重く受けとめ、給与を減額し、次期市長選挙に出馬しない決断をされたものであり、みずからの進退をもって政治的責任を明確にする極めて重い判断であると受けとめている。議会に求められているのは、処分の重さを競うことではなく、再発防止の徹底と市民の信頼回復であることから、原案に賛成する。

原案賛成討論

経政会 森川 稔

不適切会計は重大で、市長の責任は重い。市長選への不出馬と給与減額は一定の責任表明である。残りの任期中に内部統制の強化、監査機能の充実、決裁過程の透明化、職員のコンプライアンス徹底について、再発防止の仕組み構築など、持続的改革を行うことが市民の皆様への本当の責任の果たし方であると考

修正案賛成討論

市民クラブ 芝内 則明

この条例提案は、市長の責任に対してのものと認識している。しかし、責任の重さを考えたとき、いまだ今後の方針も明確でない。最終報告を受けて、具体的にこれから府中市の姿が見える時点で、判断すべきと考え、本修正案に賛成する。

原案・修正案反対討論

無所属 岡田 隆行

2月に出された「恋しき」の不適切な会計処理、架空請求などについての最終報告でも全様が明らかにならなかった。弁護士などを入れた第三者委員会の設置もされず、こうした減給条例を出されるのはあまりにも拙速。唐突感が否めない。また期間も3カ月、減給率も50%。この根拠も不明確。よって原案・修正案に反対する。

議案第19号 府中市特別職の職員の給与に関する条例の一部改正について

## 3月議会本会議での各議員の議決結果 (賛否が分かれたもの、主なもののみ掲載しています。詳細は府中市ホームページをご覧ください)

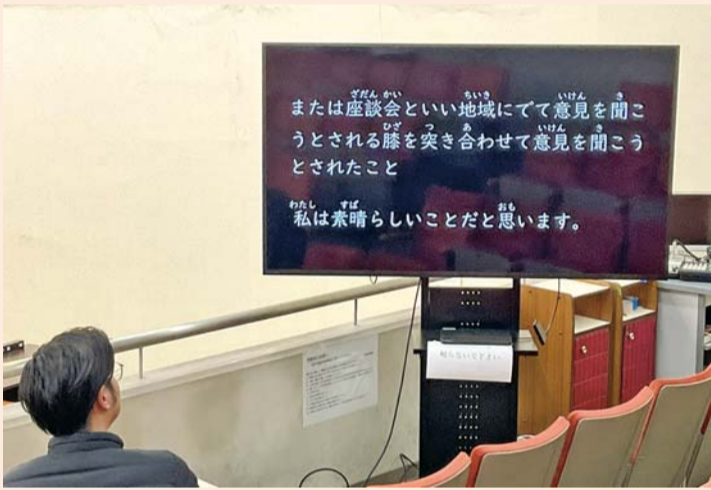
議案名	議員名																		
	本谷 宏行	岡田 隆行	藤本 秀範	真田 光夫	岩室 雄大	芝内 則明	森川 稔	福田 勉	安友 正章	土井 基司	田辺 稔	広瀬 和彦	加藤 吉秀	水田 豊	加島 広宣	大本千香子	三藤 毅	棗田 澄子	
予算	令和8年度府中市一般会計予算について	—	○	×	×	○	○	×	×	○	○	×	×	○	○	○	○	×	×
予算	令和8年度府中市病院事業会計予算について	—	○	×	×	○	○	×	×	○	○	×	×	○	○	○	○	×	×
人事	人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めることについて	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
条例	府中市国民健康保険税条例の一部改正について	—	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
条例	府中市特別職の職員の給与に関する条例の一部改正について	—	×	○	○	○	×	○	○	×	○	○	○	×	○	○	○	○	○
意見書	非核三原則の堅持を求める意見書	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

(—議長は採決に加わらず、欠は欠席、×は反対、○は賛成、棄は棄権、除は除斥・・・本人等に関わる議案については審議に参加できないこと)

## 傍聴席へのライブモニターを設置

府中市議会では、令和8年3月定例会（2月26日開会）から、本会議場内での傍聴席で、AIによる自動音声認識技術を活用したライブ字幕配信をスタートしました。

より市民にわかりやすく、市民に開かれた議会を目指し、会議中の音声聞きづらい方や、行政の専門用語なども、これまでの音声情報に加え、傍聴席内に新たに設置したモニターにより「文字情報」として表示することで、議場内でのバリアフリー化を推進します。



## 所管事務調査の報告

府中市議会の議会運営委員会、広報広聴特別委員会、財政改革対策特別委員会では、所管事務調査を実施し、令和6・7年報告をホームページに掲載しました。QRコードを読み取ってご覧ください。



## 決算不認定に係る措置

令和7年9月19日の9月議会最終日で「令和6年度府中市一般会計決算認定」が全会一致で「不認定」となったことを受け、令和8年3月24日の3月議会最終日で、「不認定に係る措置の状況の報告」がありました。

### 【措置の状況の主な内容は次のとおり】

#### 1 不認定となった経緯

令和6年度府中市一般会計決算等において、「食の推進に関する事業に関する事案」「恋しき」の保存活用及び管理運営に関する事案」「恋しき」における出店に関する事案」について、不適切な事務処理が見受けられたため。

#### 2 講じた措置の内容

##### (1) 再発防止策

- ア 議会への報告（予算流用の執行状況）
- イ 再委託管理の厳格化（原則禁止【全部又は主要部分】、事前確認性の義務付け【一部】）
- ウ 事業目的適合性チェック制度の導入（チェック表を添付）
- エ ガバナンス・コンプライアンスの強化  
公益通報制度の見直しと三役及び管理監督者研修の実施

##### (2) 個別事案への対応

- ア 未払金への対応（債務該当性の精査）
- イ 架空事業の疑いへの対応（公金支出の妥当性を検証）
- ウ 「恋しき」の管理体制の刷新（不透明な委託関係を解消）

##### (3) 第三者による調査・検証

- ア 重点検証項目（裁量権行使の妥当性等を検証）
- イ 改善の継続（第三者からの調査報告等に基づき、本改善策を改めて精査し、必要な制度整備を行う）

##### (4) 市民及び職員への説明

在任期間中に市長自らの言葉で報告を行う。

## 議会の動き（1～3月）

- 1月7日 建設産業委員会（指定管理に係る執行部との意見交換）
- 1月13日 議会運営委員会（令和8年第1回臨時議会運営）
- 1月15日 財政改革対策特別委員会（令和7年度持続可能な財政運営プランの進捗状況等）
- 1月20日 第1回府中市議会臨時会
- 1月20日 議員全員協議会（第3期府中市総合戦略等）
- 1月23日 東部ブロック議員研修会（尾道市）
- 1月26日 議員研修会（ハラスメント研修 井上 則男 先生）
- 1月28日 議会運営委員会（令和8年第2回定例会議会運営）
- 2月13日 財政改革対策特別委員会（財政対策特別委員会のまとめ）
- 2月18日 議員全員協議会（不適切な事務処理の最終報告）
- 2月20日 議会運営委員会（令和8年第2回定例会議会運営等）  
財政改革対策特別委員会（財政対策特別委員会のまとめ）
- 2月26日 広報広聴特別委員会（議会だより編集会議）
- 2月26日～3月24日 第2回府中市議会定例会
- 3月27日 議会運営委員会（3月議会振り返り）

## 視察の受け入れ

- 1月15日 山口県防府市（高度無線環境整備推進事業）
- 1月28日 佐賀県鳥栖市（SPINGLEウェルネスセンター gym&swimming）

## 編集後記

新しい議会だよりの編集体制になって、2年が過ぎました。市民の皆さんに見てもらえる、読んでもらえる誌面を目指し頑張ってきましたが、いかがだったでしょうか。また、広報広聴特別委員会では、フリースピーチなどにも取り組み、市民の声が市政に届きやすい議会に向けて努力してきました。市議会議員選挙の結果、顔ぶれも変わりますが、これまで以上に工夫し、市民に開かれた議会・市政となるよう取り組みを続けていければと思っています。

(土井)

議会だよりへのご意見・ご感想お待ちしております。  
TEL(0847)44-9182  
FAX(0847)45-3212